

平成30年 3月 31日

釜石市議会議長 佐々木 義昭 様

会派名 公明党

報告者 細田 孝子



会派視察調査報告書

当会派所属議員による視察調査を下記の通り実施しましたので報告致します。

- 1、視察項目 ; 「せんだい3. 11メモリアル交流館」現地視察
日 時 ; 平成30年3月18日(日) 午後1時～2時
参加議員 ; 細田 孝子 山崎 長栄
相手先 ; 公益財団法人 仙台市市民文化事業団
「せんだい3. 11メモリアル交流館」館長 八巻 寿文
視察場所 ; 宮城県仙台市若林区荒井字沓形85-4
「せんだい3. 11メモリアル交流館」

研修内容

「せんだい3. 11メモリアル交流館」は、平成28年2月13日に、東日本大震災を知り学ぶための場として、また、記憶と経験を未来や世界に継承して行くための拠点として整備が行われる。施設内は、1階・交流スペース、2階・常設展示およびスタジオ、3階・屋上庭園と整備され、管理運営は仙台市から委託を受けた、公益財団法人・仙台市市民文化事業団が行っている。施設への誘客の工夫としては、被災者が大震災について語り合うワークショップなど参加の開催をはじめ、来館者が思い出や感想を描ける更新型マップの展示や、企画展を常設展示と合わせて開催し、リピーターの対策にも取り組んでいる。平成29年6月18日には来館者が10万人を突破した。

所 感

施設は、仙台市地下鉄東西線荒井駅に併設されており、利便性が高く、来館者が分かり易い場所に立地されている。視察した当日は、常設展示と合わせて企画展示「結～消防・命のプロが見た東日本大震災3. 11現場の事実×心の真実」展が開催されていた。大震災発災時に於ける消防署隊の活動や、心の葛藤をパネルやビデオ映像で紹介する企画だが、使命感に溢れながらも一人の人間として何を思い、何に迷い、行動されたのかに迫る力作であった。展示スペースは広くないものの、展示する物が効果的に配置されていた。受付脇に、小さな販売コーナーが置かれ、



沿岸被災地域の商品が陳列される中に、釜石市の特産品、「柿の酢サイダー」が置かれていることに気が付き驚いた。早速、担当者に深くお礼を述べると共に、引き続いての販売推進のお願いを申し上げて来る。

2、視察項目：「介護予防 カラオケ体操」現地視察

日 時：平成30年3月19日(月) 午前10時半～12時

参加議員：細田 孝子 山崎 長栄

相手方；東京都中野区 弥生地区 本一高齢者会館運営委員会

会 長 北田 武夫

(株)第一興商東京支店 営業三課

部長代理 山越 寛人

(株)第一興商東京支店 営業三課

三輪 勝人

研修場所；東京都中野区本町1丁目7-6 本一高齢者会館

研修内容

東京都中野区では、カラオケ機器大手の第一興商と連携し、高齢者の介護予防事業を行っている。それは、第一興商が認知機能などの維持向上に向けて、歌やボイストレーニングを応用したプログラムを開発したことから、中野区がこのプログラムを活用し、企業と連携をして「カラオケ体操」を介護予防事業に取り入れられた。高齢者に好評だったことから全区内で実施されることとなったが、この事業の実施には、第一興商が開発したDKエルダーシステムと音楽健康指導士が必要であり、機器レンタル料や指導士の人件費等は全て区が負担されている。

現在、区内16ヶ所の高齢者会館で週1回開催されているが、介護予防事業における課題に、男性の参加者が少ないことが挙げられるが、此の「カラオケ体操」会場には多数の男性参加者が見られた。

所 感

「カラオケ体操」は、テレビ画面に映し出された映像を観ながら音楽に合わせて、脳トレから始まり、体のウォーミングアップ、複式呼吸でのスポーツボイス、其の後にカラオケを歌いながらの体操という流れで行われていた。時間の経過も忘れて意欲的に取り組む事が出来る背景には、巧みなインストラクターの話術も大きなポイントになっていると感じる。視察を計画する際にこの「カラオケ体操」は男性も参加されていると伺い訪問したが、三分の一の参加者が男性であり楽しく取り組まれていた。課題があるとすれば、機器のレンタル料などの財源の確保である。